

# 中国電力グループの サプライチェーンGHG排出量目標の 制定について

---

2025年12月12日  
中国電力株式会社

# 1 -1. 中国電力グループ経営ビジョン2040（目指す世界）

■ 電力需要の増加や脱炭素ニーズの高まりなどの経営環境の変化や地域・社会課題を中国電力グループが成長する機会として捉え、国内電気事業を成長の柱とするエネルギー事業を中心に、ステークホルダーの皆さまとともに成長していくという想いで「中国電力グループ経営ビジョン2040」を策定しました。

## 01 中国電力グループ経営ビジョン2040で目指す世界

- 中国電力グループには、長年にわたりお客さまや地域の皆さまに支えられながら培ってきた技術・経験・ノウハウがあります。電力需要の増加や脱炭素ニーズの高まりという潮流を中国電力グループが成長するチャンスと捉え、お客さまや地域の皆さまの課題に寄り添いながらビジネスモデルを転換し、従業員の創意工夫で新たなサービスを創造していくことで、中国地域のエネルギーを支え、事業基盤をより強固なものとしします。更に、その強みを活かして中国地域外や海外でも成長していきます。
- グループ企業、社外関係先および自治体他との共創により、地域のGXやレジリエンス向上、デジタル高度化など地域・社会の課題解決に向けて事業を展開していきます。中国電力グループは、地域・社会の活性化と持続的な発展に貢献することを通じて、グループの経済価値・社会価値を向上させ企業価値を最大化します。



# 1-2. 中国電力グループ経営ビジョン2040（価値創造ストーリー）

■ 中国電力グループ経営ビジョン2040の実現を通じて、ステークホルダーの皆さまの期待にお応えし、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

## 価値創造ストーリー

- ステークホルダーの皆さまからの「信頼」に基づいて生み出された価値創造の源泉となる様々な資本をもとに、経済価値・社会価値を「創造」し、その価値をステークホルダーの皆さまに還元しながら次の「成長」につなげていきます。
- 中国電力グループ経営ビジョン2040の実現を通じて、ステークホルダーの皆さまの期待にお応えし、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

ステークホルダーからの「信頼」を更に高め、次の価値創造の源泉創出に繋げて好循環のサイクルを回していきます

### 経営理念 「信頼。創造。成長。」

#### 信頼 (INPUT)

ステークホルダーからの「信頼」に基づいて生み出された価値創造の源泉となる人材や資金等の資本を当社グループの事業活動に活用します

#### 創造 (ACTIVITY)

従業員が創造性を発揮できる職場づくりを進めるとともに、エネルギーを中心とするグループの事業活動を通じて経済価値・社会価値を「創造」してお客さまや地域等のステークホルダーにお届けします

#### 成長 (OUTCOME)

事業活動による経済価値・社会価値の創造を通じて、ステークホルダーとともに「成長」し、その成果をステークホルダーにバランスよく還元しながら、グループ経営ビジョンの目指す姿を実現していきます

#### 中国地域のポテンシャル・地域課題

#### 中国電力グループの強み

#### 価値創造の源泉

ステークホルダーからの信頼に基づき生み出されるもの

##### 人的資本

- 従業員

##### 知的資本

- 技術力、ノウハウ
- 登録特許

##### 社会関係資本

- お客さま、地域・社会、自治体、取引先等との関わりから生まれる良好な関係
- 許認可等

##### 自然資本

- 水力、太陽光、風力、バイオマス発電を生み出す地域の資源

##### 財務資本

- 総資産
- 有利子負債
- 株主資本

##### 製造資本

- 発電設備
- 送電、配電、変電設備
- 情報通信設備等

#### マテリアリティ

エネルギー事業の継続的進化

地域・社会課題解決に向けたグループ総合力による提供価値の拡大

多様な人材が活躍できる環境づくり

企業価値向上を実現するための経営基盤強化

#### 中国電力グループ中期経営計画

(グループ経営ビジョンの実現に向けた実行計画)

#### エネルギーグループ企業行動憲章(サステナビリティ経営の土台となる指針)

- コンプライアンス経営の推進
- 環境経営の推進
- 人権の尊重
- 社会とのコミュニケーションの充実
- 社会に役立つ商品・サービスの提供
- 地域社会発展への貢献
- 労働安全衛生の確保
- 活力ある企業文化づくり
- 危機管理の徹底
- 役員の責務(ガバナンス)

#### 目指す姿

中国電力グループは、経済価値と社会価値を向上させ企業価値を最大化します

エネルギー・ソリューションで地域をリードする

豊かなくらしとまちづくりのベストパートナーになる

一人ひとりが挑戦を重ねすべての人が持ち場で輝く

#### 経営目標

財務目標 (経済価値)	2030年度	2040年度
ROE	8%以上	10%以上
ROIC	3%以上	WACC+1%以上
自己資本比率	20%以上	25～30%程度*

\*2035～2040年度の目標

#### サステナビリティ目標 (社会価値)

E	カーボンニュートラル・循環型社会の形成・自然との共生の統合的な推進 サブライチエーションGHG排出量 (Scope1+2+3) 2030年度 50%削減、2035年度 60%削減 (2013年度比)
S	地域・社会からの信頼獲得 多様な人材の活躍と従業員エンゲージメントの向上
G	公平性、透明性かつ実効性のあるガバナンスの構築

注:ENERGIA(エネルギー)の意味するところは、「エネルギーがもたらす、あたらしく、あたたかい活力のある社会」であり、中国電力グループが、その社会の実現に向けて努力していく姿勢をも包括した概念です。

# 1 -3. 中国電力グループ経営ビジョン2040（サステナビリティ目標）

- 中国電力グループのサステナビリティの実現に向けて、ESGの観点からサステナビリティ目標を設定しました。
- サステナビリティ目標の環境目標としては、サプライチェーンGHG排出量（Scope1+2+3）2030年度50%削減、2035年度60%削減（2013年度比）を設定しました。

## 05 経営目標（サステナビリティ目標）

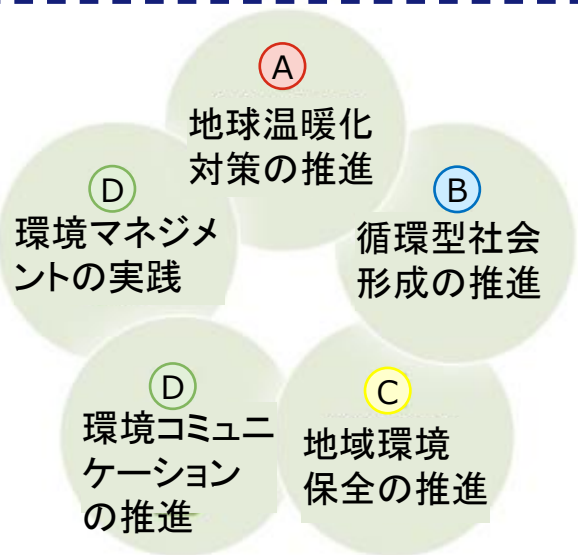
- 中国電力グループのサステナビリティの実現に向けて、ESGの観点からサステナビリティ目標を設定しました。
- グループ企業各社はグループ中期経営計画のなかで目標を設定し、グループ目標の達成に向けて取り組みを進めていきます。

E	環境	グループ目標	カーボンニュートラル・循環型社会の形成・自然との共生の統合的な推進 サプライチェーン GHG 排出量 (Scope1+2+3) 2030年度 50%削減 2035年度 60%削減 (2013年度比)
		中国電力個社目標	小売事業・発電事業ともに2030年度 CO <sub>2</sub> 排出量 50%削減 (2013年度比) ※2035年度に向けては、グループ全体の目標であるサプライチェーンGHG排出量60%削減 (2013年度比)の達成に向けて取り組む
S	地域・社会	グループ目標	地域・社会からの信頼獲得
		中国電力個社目標	中国電力への信頼度 75%以上 (WEB調査における企業イメージ「信頼できる」の肯定率) 地域の課題解決に向けた共創活動の推進および地域・社会とのコミュニケーションの充実
G	人材	グループ目標	多様な人材の活躍と従業員エンゲージメントの向上
		中国電力個社目標	課長以上女性比率 社員の女性比率 (20%以上)と同等 従業員エンゲージメント70%以上 (肯定回答率)
G	ガバナンス	グループ目標	公平性、透明性かつ実効性のあるガバナンスの構築
		中国電力個社目標	社外取締役比率 50%以上 女性取締役比率 30%以上

## 2-1. 中国電力グループ環境経営方針

- 環境行動計画とCN戦略基本方針を統合するとともに、新たな方針では、国が定める第6次環境基本計画に倣い、「カーボンニュートラル」、「循環型社会の形成」、「自然との共生」の3つを取り組みの柱としました。
- その推進において重要な環境管理等の取り組みを「環境経営の基盤」として整理しました。

環境行動計画



CN戦略基本方針

### ① 「2050年カーボンニュートラル」に挑戦します

- ◆ エネルギーの脱炭素化を進めます。
- ◆ カーボンニュートラルへの挑戦を通じて、地域の発展に貢献します。
- ◆ カーボンニュートラルに資する技術開発を進めます。

### 中国電力グループ環境経営方針（イメージ）



再整理

- ① ◆ 「2050年カーボンニュートラル」に挑戦します
- ② ◆ 循環型社会の形成を推進します
- ③ ◆ 自然との共生に貢献します
- ④ ◆ 環境経営の基盤となる取り組みを充実します

## 2-2. 中国電力グループ環境経営方針 全体概要

■「2050年カーボンニュートラルへの挑戦」、「循環型社会の形成」、「自然との共生」をテーマとして目標の達成等に取り組むとともに、事業活動に伴う環境負荷の低減を進めながら「社会価値」と「経済価値」を同時に創出する環境経営を実現し、グループ全体の企業価値向上を目指します。

方針	目標
「2050年カーボンニュートラル」に挑戦します	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サプライチェーンGHG排出量（2013年度比）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2030年度▲50%、2035年度▲60%</li> </ul> </li> <li>• お客さま・地域の脱炭素化に資するサービスの開発と事業展開</li> <li>• 事業別のCO2排出量（2030年度、中国電力個社）</li> </ul>
循環型社会の形成を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 廃棄物の再資源化率95%以上(石炭灰有効利用含む)</li> <li>• 廃プラスチック削減に向けた3R + Renewableの推進</li> <li>• お客さま・地域の循環型社会の形成に資する取り組みの推進</li> </ul>
自然との共生に貢献します	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大気・水域などへの環境負荷低減(環境保全協定値以下)</li> <li>• 生物多様性に係る取り組みの推進</li> </ul>
環境経営の基盤となる取り組みを充実します	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次世代層を対象としたエネルギー・環境教育支援活動</li> <li>• 環境に関するお客さま・地域との対話活動</li> <li>• 環境法規制の遵守・社会的要請への対応</li> <li>• 従業員の環境の取り組みに係る理解促進</li> </ul>

# 3 -1. 2050年カーボンニュートラルへの挑戦

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、「エネルギーの脱炭素化」と「お客さま・地域の脱炭素化」の2本柱で取り組みを進めています。
- また、サステナビリティ目標として、中国電力グループ全体のサプライチェーンGHG排出量（Scope1+2+3）を2013年度比で2035年度に60%削減させることを目指していくこととしました。
- なお、足元の取り組みとして、2030年度のCO2排出量目標を継続し、2030年度目標達成に向けた重点施策を推進していきます。

## 〔既存目標（継続）〕

### エネルギーの脱炭素化

CO <sub>2</sub> 排出量	小売事業と発電事業ともに、2030年度CO <sub>2</sub> 排出量半減（2013年度比）
---------------------	---

### お客さま・地域の脱炭素化

お客さま・地域	お客さま・地域の脱炭素化に資するサービスの開発と事業展開
---------	------------------------------



## 〔新規目標（追加）〕

### サプライチェーンGHG<sup>※1</sup>排出量目標（グループ企業含む）

2013年度	2030年度 <sup>※2</sup>	2035年度
基準年度 (4,955万t)	▲50%削減 (2,480万t)	▲60%削減 (1,980万t)

※1 温室効果ガス

※2 2030年度は既存の事業別目標に倣い、削減率(2013年度比)で▲50%のサプライチェーン排出量目標を設定。

## 取り組みの方向性

エネルギーの脱炭素化	お客さま・地域の脱炭素化
カーボンニュートラル電力の活用拡大と火力発電のトランジションによるエネルギーの脱炭素化	お客さま・地域の脱炭素化に資するサービスの開発と事業展開

## 3 -2. サプライチェーンGHG排出量の算定対象（グループ会社）

- サプライチェーンGHG排出量目標の対象は、財務報告と平仄を揃え、連結対象としているグループ企業としました。
- なお、削減率の基準年となる2013年度から現在まで、グループ企業は統廃合されているため、2024年時点で基準を選定しました。

### 〔対象となるグループ企業〕

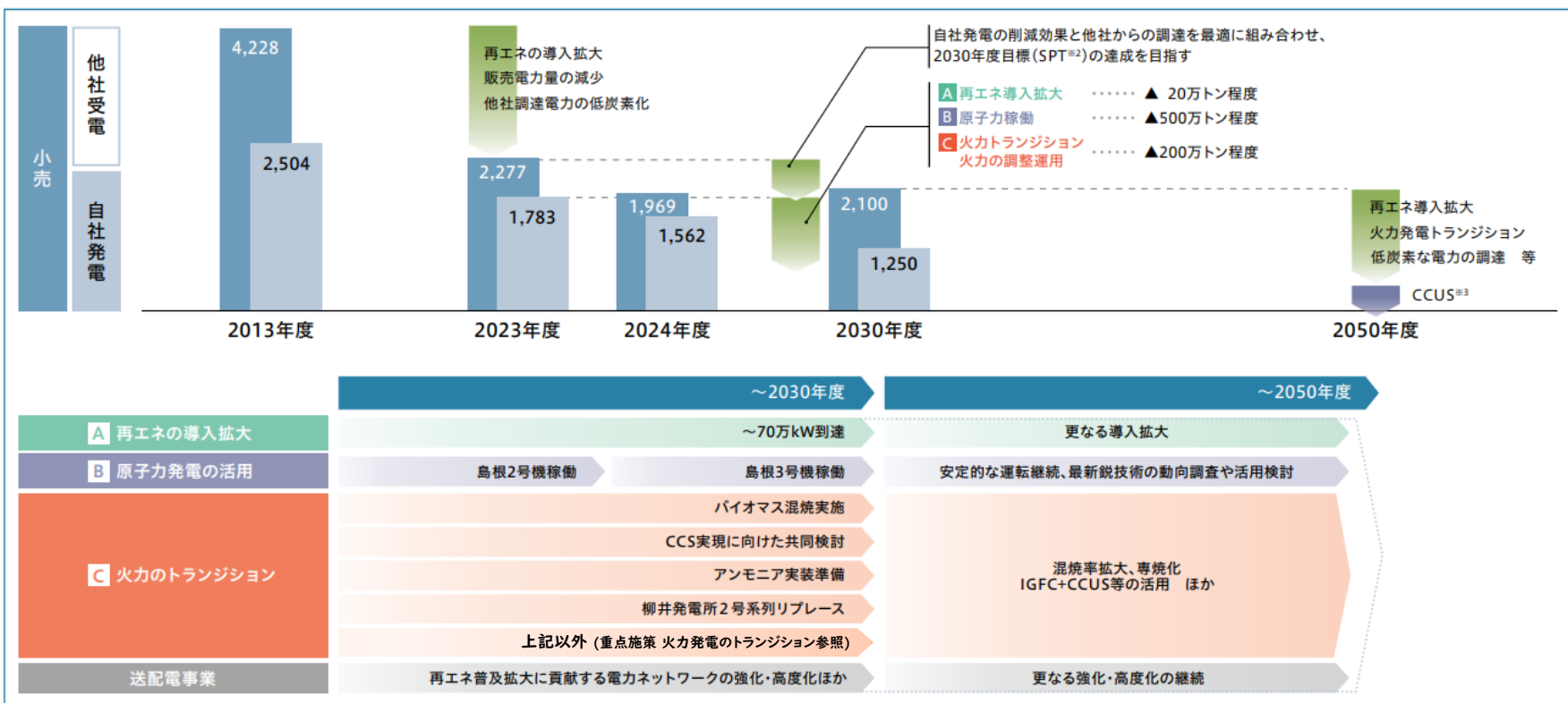
#### 中国電力グループ（連結子会社）

中電工業株式会社	Chugoku Electric Power International Netherlands B.V.
中電プラント株式会社	エネルギー・パワー山口株式会社
中国計器工業株式会社	Chugoku Electric Power America. LLC
株式会社エネルギーL&Bパートナーズ	Chugoku Electric Power Singapore Pte. Ltd
中電環境テクノス株式会社	中国電力ネットワーク株式会社
株式会社エネコム	株式会社アドプレックス
株式会社エネルギー・ビジネスサービス	中国技術コンサルタント株式会社
株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス	株式会社エネルギー・ロジステックス
株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	中国高圧コンクリート工業株式会社
Chugoku Electric Power Australia Resources Pty. Ltd	株式会社電力サポート中国



# 3 -3. 中国電力個社のCO<sub>2</sub>排出量削減の方向性

- 自社発電事業においては、原子力発電の稼働に加え、LNG火力のリプレースをはじめアンモニアの混焼やCCSといった各種取り組みを推進し、2030年度のCO<sub>2</sub>排出量目標の達成を目指します。
- 小売事業においては、経済性・環境性を総合的に評価した最適な電力調達を実現し、2030年度のCO<sub>2</sub>排出量目標の達成を目指します。



〔脱炭素関連投資〕  
2024~2030年度  
計1.3兆円規模

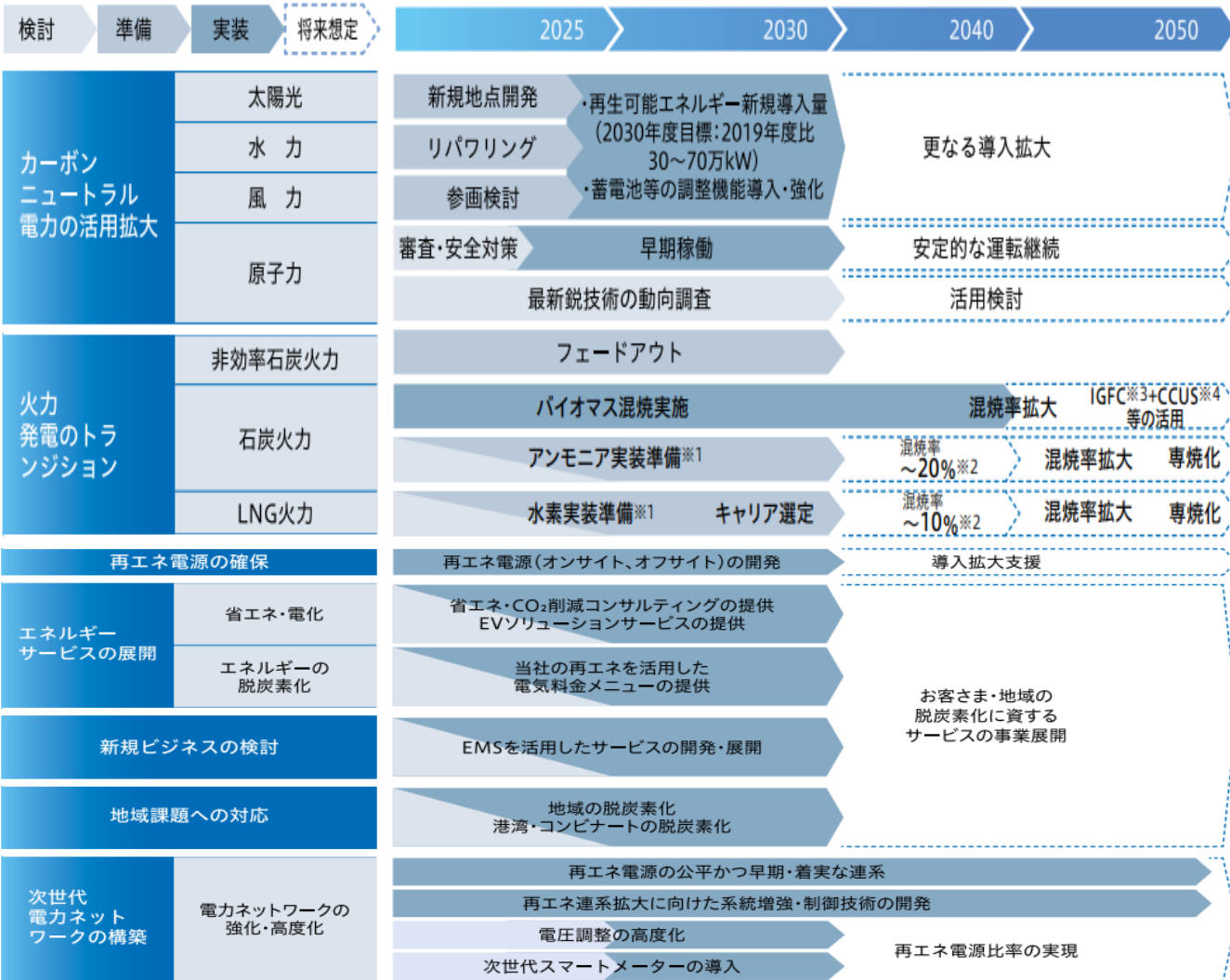
電源	再生エネルギー	1,500億円規模
	原子力 <sup>※4</sup>	4,000億円規模
	火力	1,500億円規模
送配電 <sup>※5</sup>		6,000億円規模

※1 CCS(Carbon dioxide Capture and Storage): CO<sub>2</sub>回収・貯留技術  
 ※2 SPT(Sustainability Performance Target):「中国電力株式会社サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」において設定した目標  
 ※3 CCUS(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage):分離・貯留したCO<sub>2</sub>の利用  
 ※4 安全対策工事に関する投資額  
 ※5 送配電事業における総投資額

(注1) CO<sub>2</sub>排出削減効果は、自社発電の排出削減量として試算  
 (注2) 経済的および技術的側面などから多角的に検討を進め、その結果により見直す可能性がある

# 3 -4. 2050年カーボンニュートラルへの挑戦 重点施策

## 重点施策



## 2024年度の主な取り組み

- ◆ FLOWRAへ参画。ひびき灘沖浮体式洋上風力事業へ参画
- ◆ 下松発電所跡地において、系統用蓄電システム導入の諸準備を実施
- ◆ 既設発電設備の、同期調相機能化に関する調査への応募・採択
- ◆ 島根2号機が営業運転再開
- ◆ 島根3号機が長期脱炭素電源オークションにて落札
- ◆ 柳井発電所新2号機が長期脱炭素電源オークションにて落札
- ◆ 先進的CCS事業に係る設計作業等に関する調査業務を2件受託
- ◆ 大崎クールジェンにて、バイオマス混合ガス化実証を達成
- ◆ オフサイト発電特約の締結(2件)
- ◆ お客さまの省エネ・CO<sub>2</sub>削減に向けた「IoT型計測診断サービス」を開始
- ◆ エネルギーマネジメントを推進
- ◆ 下関市と、東広島市が脱炭素先行地域に選定
- ◆ ネットワークの次世代化を推進

※1 諸条件が整った段階で、本格運用に向けた対応を進める ※2 混焼率は熱量ベースで記載 ※3 石炭ガス化燃料電池複合発電 ※4 分離・貯留したCO<sub>2</sub>の利用  
注 現時点において、実用化に向けた技術開発の進展が期待できる上記の施策に重点的に取り組む。今後の技術開発動向等を踏まえ、施策の評価・見直しを適宜行う

—— 中国電力の取り組み姿勢や地域への想いをお伝えすることを目的に、新たなブランドメッセージ「一日も。百年も。」を策定しました。——



### 【ブランドメッセージに込めた想い】

今日という一日を、支えること。  
そして一日一日を、  
一日も途切れることなく支えつづけること。  
それが中国電力の変わらぬ使命です。  
いまを見つめる。はるか未来も見つめる。  
そんな「ふたつのまなざし」を何より大切にして。  
変わらない一日のために、中国電力はもっと変わろう。  
世代を越えても、この地を照らしつづけるために。

#### <お問い合わせ先>

〒730-8701 広島市中区小町4-33  
中国電力株式会社 経営管理部門 I R・経営分析グループ  
Tel 082-544-2786  
Mail [info.ir.cg@hd.energia.co.jp](mailto:info.ir.cg@hd.energia.co.jp)

- 内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。
- 当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。
- 当資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。
- 投資を行う際には、必ず当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいた上で、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。